



巡礼その四十二 秀友会タイ旅行

2003年5月1日

私は 2000 年に所属する公益法人世田谷区歯科医師会の理事を拝命いたしました。任期は3年間です。任期が終わるとみんなで旅行に行くのが恒例になっていました。そしてそのために積み立てを行っています。任期を一年残す頃になると旅行が話題になります。私は広報誌「うめがおか」に東南アジアの記事を掲載させてもらっているの、自然に旅行の幹事決定です。会長いわく、夫婦同伴、家族同伴が望ましいとのこと。すると全員で理事 15 名、幹事 2 名、事務局長 1 名で、この旅行は任意なので行かない人もいますが 20 名以上の団体になると思われます。全員仕事があるので長くは休めません。先ずは日にちを決めます。執行部が終わる 2003 年のゴールデンウィークの5月1日から5月5日までとしました。そうすると3泊5日か4泊5日になります。この範囲で行けるのは韓国、台湾、フィリピン、東南アジアです。旅行の楽しみは非日常です。そこで私の得意な東南アジアにすることにしました。しかし海外旅行は初めての人、欧米には行ったことはあるが、東南アジアは初めての人たちがいるので、私のいつもの旅行方法では大変なことになってしまいます。基本的に私の旅行は寺院見学がメインでホテルは1泊 3000 円前後、食事は地元の食堂で食べます。

寺院見学が全てで、有名な観光はよっぽどでなければなりません。従って私の旅行の対極の旅行を考えれば良いのです。次に行き先です。タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、シンガポール、マレーシア、インドネシアなどですが、インドネシアはもう少し日数が欲しいし、シンガポール、マレーシアは面白くありません。カンボジア、ラオスは大好きでオススメですが、この時点でインフラが完全ではなく団体旅行は諦めました。残ったのはタイでした。バンコクは東南アジア最大の都市で異国情緒満点です。次は北のチェンマイか南のビーチです。チェンマイはとても良い街で南に比べるととても涼しく凌ぎやすい事と、最近「ザ・リージェントチェンマイ」と言われるラグジュアリーホテルが開業したので、チェ

ンマイに決定しました。リージェントチェンマイはコテージタイプになっており、自然を取り入れて、米どころチェンマイの象徴である田圃をホテルの敷地内に作り、そこで収穫も行います。部屋はマホガニーやチークなどの木材をふんだんに使用したランナータイ使用です。プールは二つあり、一つは田圃の隣に、一つはなんと「アナンタ龍の上に横たわるヴィシュヌ」の彫像がデコレーションされたプールです。もうホテルはここに決定です。バンコクのホテルはオリエンタルに決めました。誰も文句を言わない世界一のサービスのホテルです。あとはプログラムです。チェンマイでは寺院を一つ入れます。階段が大変ですがドイ・ステープ寺院、象に乗るためにエレファントキャンプ、蘭が綺麗なオーキッドガーデン、チェンマイの民族舞踊を見ながら地方料理を食べるカントークディナーショーなど私が行ったことがないところを選びました。夜は初めて行った時に感激したナイトバザールです。翌日はホテルでゆっくりして、お土産物屋さんを回ります。バンコクでは定番のチャオプラヤクルーズ、王宮、暁の寺、ワットポーなどを見学します。またニューハーフショウの「カリプソ」は外せません。これらのリクエストを入れて旅行社に予定を立ててもらい、出来上がったなら説明会を開きます。理事会でタイの案が決定し、参加人数がこの時点で 21 名でした。夫婦が 6 組、家族 1 組、個人参加が 7 名でした。旅行説明会を行い、現地の気候、食べ物、必需品など活発な意見交換がなされ、パスポートの取り方など説明がありました。結局経費削減のため日本からの添乗員は付けず、私がやる事になりました（想像通り）。現地に行けば現地のガイドが付きます。問題の一つは食事です。私が旅行社と相談し、原則夜はホテルでタイ料理、中華料理、イタリア料理とし、私のリクエストでチェンマイいち美味しいと言われる「カオソーイ（麺）」の店を昼食に入れてもらいました。それと日本人が好きな「タイスキ」です。話の種に日本ではまず食べられない、とても癖のあるドリアンを出してもらうようにしました（一番美味しい時期）。この旅行の名前を付けなければなりません。この理事の集まりを、会長の名前をとって「秀友会」とすることに決めましたので旅行名は「秀友会バンコク・チェンマイ 5 日間」となりました。準備万端です。いよいよ出発まで 1 ヶ月です。ここで旅行の存続を決定する大変な出来事が起こるのです。それは高病原性鳥インフルエンザ A/H5N1 の流行です。この鳥インフルエンザは東南アジアで猛威を振るいタイ、ベトナムで死者を出しています。確か外務省でもなるべく渡航しないように注意喚起を出したと思います。私はすぐに旅行社に連絡して、状況を聞きました。現地に問い合わせたところ、現時点でさほど問題はないが、キャンセルは全て受け付けるとのことでした。早速理事会で全員の意向を聞きました。私は全員一致でキャンセルだと思っていましたが、なんと会長の発言は「行きましょう」でした。他の理事者も行ってみようということでキャンセル希望者は一人も出ませんでした。みんな

な太っ腹なのか、旅行をととても楽しみにしているのかわかりませんが、幹事として絶対に楽しんでもらう旅にすることを誓いました。

2003 年5月1日

いよいよ旅行当日です。飛行機は 11:00 発のタイ航空です。集合は7:00 に新宿駅です。続々と集まってきます。みんな楽しそうです。人数を確認して成田エクスプレスに乗ります。成田空港はゴールデンウィークにも関わらず混んでいません。しかし鳥インフルエンザの影響で空港自体がとてもピリピリしています。特に入国は大変です。私たちはのんびり免税店でお買い物です。すでにたくさんの買い物袋を持っている人たちもいます。おそらく帰国時には倍の荷物になっているでしょう。飛行機は時間通りに離陸しました。大勢で行くと飛行機もとても楽しく退屈しません。15:30 バンコク着、トランジェントでチェンマイへ行きます。空港でまた買い物です。17:15 発、チェンマイには 18:25 に着きます。全員無事チェンマイ空港に到着です。私の荷物は妻に任せてすぐに外に出てガイド探しです。ガイドはすぐに見つかり、全員バスに乗せて、リジェントチェンマイへ向かいます。ホテルは写真の通り、とてもラグジュアリーで快適そうです。いたるところにお花が飾られています。ここで部屋割りですが、私たちは別の部屋に連れて行かれてそこでウエルカムドリンクと総支配人からのお礼の挨拶がありました。実は鳥インフルエンザの影響で欧米の宿泊客のキャンセルが相次ぎ、日本からの我々にお礼を言いたかったそうです。そういえば宿泊客があまりいないようです。まず部屋割りをして、部屋に入りすぐに、レストランに集合です。夕食はホテルのレストランでタイ料理です。ホテルですのでソフィスティケートされた味付けで皆も喜んで食べていました。全員疲れていたの部屋に戻りました。

5月2日

9時出発ですので各々朝食をとってロビー集合です。興奮しているせいか5時に起きてしまい、プールに行ってひと泳ぎしました。とても気持ちがよく水田を渡る風が最高です。するとみんなが散歩に出てきました。

とても広い敷地を上手に利用しているので朝の散歩にはもってこいです。7時にはレストランに行ってビュフェです。西洋、中華、タイ、日本なんでもあります。米の麺クイティアオは東南アジアの朝食の定番です。中華粥も捨てがたい。9時に全員揃ってバスに乗り、15km 離れたドイ・ステープ寺院を目指します。標高 1000m 有り階段を上るのが大変ですが、頂上の寺院からの眺めは素晴らしいので選びました。黄金に輝く本堂はとてもきれいです。しかし霧が出てきてしまい、景色はイマイチでした。次はエレファントキャンプいわゆる象園です。まず象のサッカーやお絵かきなどのショーを見ます。そのあと象に乗ってジャ

ングルを回ります。象は何回も乗っていますが、これが楽しいのです。みんなも大喜びです。お昼は特別に頼んでおいたチェンマイで一番美味しい「カオソーイ（麺）」を食べます。オープンエアー（エアコンがないだけ）の小さな食堂は貸切状態です。カオソーイはココナッツミルクを加えたカレースープに揚げ麺を入れ、干しエビ、ひき肉、ライム、エシャロットなどが入った麺で、心配だったのですが、全員汗だくになってお代わりをして食べました。午後はオーキッドガーデンへ行き、早めにホテルに戻ります。夕食までは自由時間なのでプールで泳ぐ人、スパへ行く人、部屋でのんびりしている人など様々です。6時にバスでカントークディナーへいきます。広い民家風のレストランで前はステージになっています。カントークディナーは日本の小さな卓袱台にスープ、サツマイモの揚げたもの、鳥の唐揚げ、ポークカレー、キャベツの炒め物、ポークのチリソース、豚の皮の揚げ物、もち米などがのっています。その後現地妻で有名になった玉本さん好みの美女が民族舞踊を踊ってくれます。みんな大喜びでナイトバザールへ。ナイトバザールはタイの大きな街には大抵ありますが、チェンマイのナイトバザールはメインストリート両側にぎっしり夜店が並び、普通の商店も営業しているので、大変な賑わいです。さらに少数民族も生活用品やアクセサリーなど色々なものを売りにきます。それを期待していったのですが、規模は私が訪れた時の半分になっていました。それでもみんな楽しそうでした。ホテルへ戻り部屋で宴会をして寝ました。

5月3日

今日は 15:15 の飛行機でバンコクです。みんなのリクエストで買い物三昧です。シルクショップ、コットンショップ、シルバーショップ、レザーショップ、民芸品店などを回ります。観光客がいないので店員は必死です。お昼は「タイスキ」です。予想通りタイスキはみんな大好きでした。ここでサプライズのドリアンを出してもらいました。匂いが強烈でみんな敬遠しましたが、一人こんな美味しいものは初めてと言って嬉しそうに食べた人がいたのには驚きました。私もやっと3回目で食べられるようになりました。バンコクには 16:25 に着きバスに乗ってホテルに向かいます。ここで驚いたことにバンコクの街に渋滞がないのです。昔から慢性的な渋滞に悩まされていた街に車、トゥクトゥク、バイクがとても少ないのです。信じられないことに渋滞なしに時速60km ぐらいで走ります。鳥インフルの影響です。これからもこんな空いているバンコクの道には出会えないと思います。オリエンタルホテルは流石に名門ホテルです。とても落ち着きがあり、従業員の笑顔が印象的です。夕食はパンパシフィックホテルの「海天楼」の中華が美味しいと評判なので中華にしました。食後はお楽しみのニューハーフショーで有名な「カリブソ」へ行きます。とても綺麗な人もいればおじさんもいてみんな大喜びで記念写真を撮ったりしています。ホテルに戻り

本日のスケジュールは終了です。

5月4日

9時出発でまずホテルの船着場からチャーター船でチャオプラヤ川を遊覧しながら王宮へ行きます。王宮周囲を見て回り、ワット・ポーへ行きます。どこも観光客がいません。巨大な涅槃像がお迎えです。次に暁の寺ワット・アルンへ行った時に事件は起きました。メンバーの一人が蛇使いに捕まり、蛇を巻いて写真を撮られ 500 バーツ請求されおどおどしていました。すぐに飛んで行って 200 バーツにしろと交渉しましたが、全く動きません。私もボリすぎだと引き下がりませんでした。すると現地ガイドが飛んできて間に入り 250 バーツにしました。鳥インフルの影響で観光客がこないの、死活問題なのです。船でホテルに戻り今日は夕食まで自由行動で、行きたい人は旅行社のバスで買い物ツアーです。またホテルのスパに行く人もいます。わたしは水上バスで近くの骨董屋へ行きました。6時ロビー集合でシャングリラホテルのイタリアンに行きます。みんなジム・トンプソンやデパートに行って大量に買い物をしてきたらしいです。最後の夜なのでワインで盛り上がりました。ホテルに戻りバンブー・バーでお疲れ様会をしました。みんな満足そうで安心しました。

5月5日

11:20 のタイ航空で帰路に。9時にホテルを出発し空港へ。空港でも皆さん免税店で最後のお買い物。成田には 19:30 に全員無事に着きました。お疲れ様でした。